

「かぎろひを観る会」を開催しました

12月23日

万葉歌人柿本人麻呂が「東の野にかぎろひの立つ見えてかへりみすれば月かたぶきぬ」の秀歌を宇陀で詠んだといわれる旧暦11月17日に合わせて毎年開催される「かぎろひを観る会」は今年で第47回目を迎えました。

当日はあいにくの曇り空と気温の高さにより、かぎろひを観ることは叶いませんでしたが、かぎろひ短歌の優秀作品の発表や、観光案内、講演会、コンサート、そして観光協会とボランティアガイドの方々による温かいおもてなしが、参加者を楽しませていました。



▲かぎろひを観る会の様子

「宇陀市男女共同参画集会」を開催しました

12月8日

榛原総合センターにおいて、「宇陀市男女共同参画集会」を開催しました。

講師に南都銀行元菟田野支店長 北村曜子さんをお迎えし、仕事と家庭・子育ての両立について、ご自身の経験を基に語っていただきました。

参加者からは「今後の参考になった」「共感できた」「身につまされる思いで聴いた」等の感想をいただきました。

これからますます、男女共同参画社会の実現が求められます。その実現に向けて、自分ができることから始めましょう。



▲北村さんによる講演



▲桜井宇陀人権擁護委員によるプレゼンテーション



消防団による年末特別警戒出発式

12月29日・30日

宇陀市消防団による年末特別警戒が実施され、初日の29日に市役所玄関前で出発式が行われました。

式終了後には、市消防団16分団が2日にわたり、管轄地域を巡回し、市内全域で市民に火災予防を呼びかけました。

市消防団は、地域の防災の要として、安全・安心なまちづくりのために「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、災害のない安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。



▲出発式の様子



▲市内全域へ特別警戒に出発

図書館の職員さんに
聞いてみよう!

本のはなし



日本の子守唄
～命と愛のメッセージ～

西館好子 著
出版：游学社

おかあさんたちが歌い継いできた子守唄という宝物。北海道から沖縄まで、都道府県ごとの子守唄を紹介する。日本最古の子守唄、危険を知らせる謎解き子守唄、親を眠らす子守唄など、知っておきたい数々の子守唄も掲載。（中央図書館所蔵）



きっちり・しとーるさん

おのりえん さく・え
出版：こぐま社

しとーるさんは、家でも仕事場の図書館でも、いつもテキパキ時間どおり。でも、時々きっちりしすぎて、まわりの人から恐がられてしまうことも。そんなある雪の夜、しとーるさんは、ノミだらけの汚れた子ねこと出会い…。（中央図書館所蔵）

図書館からの まめ知識 Vol.59

まだまだ寒い日が続きますが、暦の上では春の訪れを告げる「立春」を迎えます。「冬のあいだじゅう、木々ははっぱをおとしています。かぜはつめたく、のほらやはたけでは、草たちもかれはてています。でも、春はゆっくりちかづいてくると、お日さまは日に日にあたたかくてりはじめ、かぜはやわらかくなり、空のいろはいよいよあおくなっていきます。すると、そのころじめんのしたでも、不思議なことが、おこりはじめていたのです。それまで、ぐっすりねむっていた根っこのこどもたちを、土のおかあさんが、おこしてあげていたのです。」

美しい挿絵とともに、こんな書き出しで始まる絵本『根っこのこどもたち目をさます』は、春間近の今の季節にピッタリのお話です。・・・

これからの季節を絵本で楽しんでいただくのもいかがでしょうか。

おはなし会やその他のお知らせは P23

「奈良まほろばかるた」 が届きました

このたび、NPO 法人奈良まほろばソムリエの会から同法人が制作された「奈良まほろばかるた」を市内の全小学校に各 3 セットずつ提供していただきました。

このかるたは、奈良の子どもたちに、かるた遊びを通じて奈良の歴史や文化を知ってもらい、あわせて郷土愛を育むことができればとの思いで制作されたものです。宇陀市の冬の室生寺も登場します。

小学校では、昔遊びの体験や郷土・歴史学習に活用されるようです。また、奈良まほろばソムリエの会では、今後多くの子どもたちが参加できる「かるた大会」も検討されているそうです。

市内の小学生の皆さん、「奈良まほろばかるた」を活用しながら楽しく奈良の良さを知って下さい！！



新春を祝う「鳥見山ご来光まつり」

1月1日

新年を古事記に縁のある鳥見山で祝う、鳥見山新春ご来光まつりが、元日早朝に行われました。参加者は、午前 5 時に、墨坂神社に集合し、太田宮司の祈祷後、徒歩で鳥見山公園を目指して歩きました。当日は、雲一つない快晴に恵まれ、鮮やかにオレンジ色に光るご来光に、新年が素晴らしい年となることを祈願しました。

当日は、恒例となった市観光協会榛原支部の皆さんによる温かい豚汁や甘酒の振る舞いがあり、例年を大幅に超える 300 人以上の方々がイベントに参加し、氷点下の気温の中、温かい豚汁をお代わりされる方も多くいました。

